



# 北辰☆

2026年6月26日

学校便り No.6

校長 森 慎也

佐賀市高木瀬西三丁目1番50号

学校教育目標 **夢の実現に向け、主体性をもって学び続ける生徒の育成**

## ■ 佐賀市学校版環境ISO キックオフ宣言

6月12日（金）の生徒朝会において、整美委員長のT.RさんとK.Eさんの進行のもと、佐賀市学校版環境ISOキックオフ宣言を行いました。

学校版環境ISOとは、きれいな空気、緑あふれる山々、清らかな川、干潟が広がる海など、水と緑に囲まれた佐賀市をもっと豊かにし、未来に引き継ぐために、学校において生徒たちと先生たちが一緒に佐賀市の環境について考え、環境保全を実施し、環境にやさしい学校づくりを目指す活動のことです。城北中学校の環境ISOの目標は、右の通りです。一人一人の心がけと行動が、私たちが住んでいる佐賀市の環境をよりよくし、その結果日本中、世界中の環境をよくしていくことにもつながります。ご家庭、地域においても、ぜひ取り組んでいただければと思います。



### 城北中の環境ISO 目標

- **節水**  
水道はこまめに止めて、チョークの太さに出します。
- **節電**  
電気が必要のない時には必ず電気を消します。
- **ごみの分別**  
燃えるごみとプラスチックごみを分別します。
- **環境活動**  
清掃活動に積極的に参加します。

## ■ いじめ・いのちの講話

佐賀市立小中学校では、毎月1日を「いじめ・いのちを考える日」としています。本校では、その取り組みの一つとして、各クラス年間7回、朝の会の時間（10分程度）に全教員（校長、教頭もです）が、所属する学年やクラスに関係なく、輪番制で「いじめ・いのち」に関する考えや思いを語っています。今年度、2回を終えましたが、どのクラスにおいても、真剣なまなざしで、先生の話に耳を傾けています。498名全員が、両親をはじめ、ご家族の方々に大切に育まれている命です。これからも自分の命を大切に、周囲の人たちの命も大切にできる人になってほしいと思います。そして、「いじめは絶対許さない」という思いを生徒と教職員が共有し、城北中学校からいじめの根絶を目指します。保護者様、地域の皆様におかれましても、いじめ根絶に向けてお力添えをいただきたいと思っています。



## ■ 読み語り

地域の方々がボランティアで、生徒へ本の読み聞かせをしてくださっています。年間9回ですが、子どもたちはその優しい語り口調に耳を傾けています。幼少の頃は、寝る前などに家族の方から絵本の読み聞かせをしてもらっていたのではないのでしょうか。ひと時の静かな時間ですが、心に潤いを与えていただいております。ボランティアの皆様には、心より感謝申し上げます。



## ■ 戦争・平和について考えました

沖縄戦から81年経った6月23日は、沖縄慰霊の日でした。朝の会の時間、各クラスでは、総務委員長のH.Hさん、S.Nさんが制作したスライドを電子黒板に映しながら、二人の委員長さんが、沖縄戦について話をしました。どのクラスも、真剣に耳を傾けながら、戦争の恐ろしさと平和の尊さについて考えていました。会の終わりには、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、このような悲しい出来事を二度と繰り返さないために黙とうをしました。

多くが犠牲となったひめゆり学徒隊  
負傷兵の看護をしていた



スライドの一部

世界が平和になるために、まず私たちができることとして、城北中の生徒一人一人が、自分を大切に、周囲の人たちも大切にできる心をより一層育ててくれたらと思います。

### 【総務委員長の話（概要）】

沖縄本島での地上戦では、兵士だけではなく、一般住民も巻き込まれ、20万人を超える大切な命が失われました。激戦地となった洞窟などでは、今もなお、遺骨や遺留品が発見されています。生き残った県民は、現在も深い傷を負ったまま、沖縄戦の恐怖と悲しみに包まれています。沖縄慰霊の日は、犠牲となった人々の霊を慰め、世界平和を祈るための日です。

## ■ 正門を華やかに・・・

正門には、掲示板が設置してあります。その掲示板には、4月は、昨年度の北辰2組の生徒作の入学式をお祝いする掲示物が貼ってありました。5月は、国語科の中島洋子先生書、北野武（ビートたけし）さんの「友達」という詩を紹介する掲示物が貼ってありました。6月からは、今年度の北辰2組の生徒たちが、松田教頭先生と一緒に季節ものの掲示物を制作してくれています。6月の掲示物の紹介が遅くなり申し訳ありませんが、「梅雨」のイメージから、折り紙を使って、紫陽花やカエル、雨を表現した作品をつくってくれました。7月の作品が間もなく完成しますが、ご来校される際は、ぜひ足を止めてご覧になられてください。



6月の作品